

2017年7月25日
 京成電鉄株式会社
 北総鉄道株式会社

京成電鉄・北総鉄道合同 「スカイライナー異常時合同訓練」 千葉県警察の協力を得て実施しました

スカイライナー車内で不審物を発見した際の対応力を強化しました

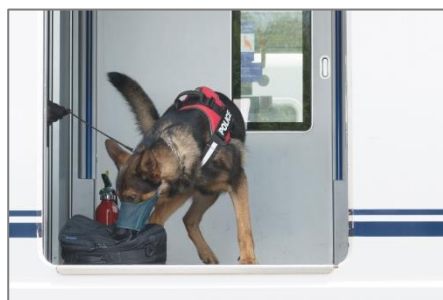
7月21日（金）9：30～、北総鉄道 印旛車両基地

京成グループの京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也）と北総鉄道（本社：千葉県鎌ヶ谷市、社長：平田 憲一郎）では、7月21日（金）9：30より、北総鉄道の印旛車両基地（千葉県印西市）において「スカイライナー異常時合同訓練」を実施しました。

これは、京成電鉄・北総鉄道両社の輸送の安全確保および重大事故発生時における対応力・技術力の向上と関係各者間の連携強化を目的として、2010年度より毎年実施しているものです。今回は、東京オリンピック・パラリンピック大会を3年後に控えていることから、万一来臨し、テロ発生時における対応力を一層強化するため、スカイライナーの車内で不審物（爆発物）を発見したことを想定し、初めて千葉県警察本部・印西警察署と連携して訓練を行いました。

訓練では、走行中のスカイライナーが、テロ行為により運転不能となり、車内で不審物（爆発物）を発見したことを想定しました。この想定のもと、非常脱出用のはしごを使用した乗客の避難誘導や負傷者の救護、警備犬による臭気検査、爆発物の処理、運転不能となったスカイライナーと救援列車を連結し、推進する（故障列車を後から押す）訓練などを総勢約130名で行いました。

訓練の詳細は次頁のとおりです。



訓練の様子（写真左上：非常梯子を用いたお客様避難、写真右上：臭気検査を実施する警備犬
 写真左下：不審物を撤去する様子、写真右下：スカイライナーと救援列車を連結する様子）

スカイライナー異常時合同訓練について

1. 日 時 2017年7月21日（金）9：30～12：20
2. 場 所 北総鉄道 印旛車両基地
3. 参加者 京成電鉄社員、北総鉄道社員、千葉県警察本部、印西警察署
約130名
4. 訓練内容 (1)事故想定内容
- ・お客様から発煙の通報を受け、スカイライナー運転士は直ちに非常停止手配を執り、停止。状況を確認すると、機器の焼損により運転不能及び車内に不審物（爆発物）を発見。
 - ・乗客4名が体調不良による軽傷
- (2)訓練内容
- ・列車防護、連絡通報、負傷者救出、乗車旅客の誘導案内
 - ・スカイライナー非常脱出梯子の取扱い及び乗車旅客の降車
 - ・北総車両によるスカイライナーとの連結・推進運転
 - ・不審物（爆発物）の撤去

以 上